

～「横浜発都市ソリューション」の検討による海外インフラビジネス展開～ 横浜市内企業が有する技術・製品をパッケージした海外展開を考える。

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら海外都市等での事業化調査や実証事業等に取り組んできました。また、Y-PORT 事業では都市開発マスタープラン策定への参加協力等を通じて、海外都市における都市課題の情報を収集しています。そこで、これらの情報等を基に、インフラビジネス展開に向けた横浜の競争力を更に高めるために「横浜発都市ソリューション」を企業の皆様と検討します。本検討は企業の皆様との情報交換が最も重要であるため、検討状況をニュースレターで配信しながら進めることにしました。ご関心のある企業の皆様は随時、裏面の連絡先までお問い合わせください。本稿では、今年度末までの活動予定を紹介します。

1. 横浜発都市ソリューション検討の目的

これまで Y-PORT 事業では、フィリピン国セブ市、ベトナム国ダナン市、タイ国バンコク都、インドネシア国バタム市の 4 都市との、「持続可能な都市開発に向けた技術協力に関する覚書」を交わし、これらの都市で横浜市内企業の技術や製品を活用したインフラ事業や環境改善事業の形成に取り組んでいます。

これらの経験を通じて、Y-PORT 事業で市内企業の実事業化を実現していくためには、現地の都市課題を解決するためのパッケージ型ソリューションとして組み立てていくことが重要であると考えに至りました。

このような着想に基づいて、新興国都市の開発事業における横浜市内企業の技術・製品を活用したパッケージ型ソリューション(これを「横浜発都市ソリューション」と呼んでいます)の検討を進めます。

2. 横浜発都市ソリューションの仮説立案

フィリピン国セブ市他 1 市、ベトナム国ダナン市他を、横浜発都市ソリューションの想定導入都市とし、その都市課題を整理します。

次に、横浜発都市ソリューションとそのビジネスモデルを仮説立案します。なお、都市ソリューションとして、以下の分野を想定しています。

- ①水処理
- ②廃棄物リサイクル
- ③建築物省エネルギー化
- ④低炭素社会に資する交通システムや次世代型交通システム
- ⑤再生可能エネルギーや通信等を活用した防災システム等
- ⑥物流システムの高度化
- ⑦食品加工の高度化
- ⑧都市再開発
- ⑨上記分野における ICT やビッグデータ、GIS を活用した都市行政サービス



写真：ダナン市内の水産加工場からの排水処理場。
処理能力の改善があるが放流水に求められる水質基準を完全には満たしていない。

3. 横浜市内企業の技術・製品等の調査

仮説立案した横浜発都市ソリューションに必要な技術・製品等を保有する企業に対してインタビューを実施し、企業としての海外進出意欲や製品・技術の特徴等について把握します。また、併せて想定

導入都市における現地調査に参加する市内企業の募集を行います。

ご関心のある企業の皆様は是非、貴社の情報をお寄せください。

4. Y-PORT ワークショップでの意見交換

本市が開催する「第17回 Y-PORT ワークショップ」において、仮説立案した横浜発都市ソリューションに関する市内企業との情報共有・意見交換を行う機会を設けます。貴社のアジアでのビジネスにお役立て頂きたい、是非ご参加ください。

■第17回 Y-PORT ワークショップ

日時：平成28年11月17日(木) 10:00～12:00
場所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル1階「シルク」

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/20161117leaflet.pdf>

- ・本市の考えるパッケージ型ソリューション「横浜発都市ソリューション」の紹介
- ・各分野におけるパッケージの考え方や具体案
- ・今後予定しているフィリピンやベトナムでの現地調査の紹介や、調査に向けた取組等

※ワークショップには、是非貴社の製品・技術・サービス等にかかるパンフレット等をご持参頂き、事務局にご提供ください。

※同日午後2:00から同会場にて、「アジア・インフラビジネスセミナー」を開催します。ADBが進める水分野の取組、本市との連携、PPPに関する取組等について、ADB各部門や海外都市の関係者よりご発表いただきます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/20161117asiabusinessseminar.pdf>

※上記の「第17回 Y-PORT ワークショップ」と「アジア・インフラビジネスセミナー」は、同日・同会場で開催しますが、それぞれに申し込みが必要ですのでご注意ください。

5. 現地調査による仮説の検証

フィリピン国セブ市他1市、ベトナム国ダナン市において、現地の都市開発担当官に横浜発都市ソリューションのプレゼンテーションを行うとともに、関連施設見学の機会を設けます。

民間企業単独では接点を持ちにくい、意思決定者への直接的なアピールの機会となりますので、是非参加をご検討ください。

訪問先：ベトナム国ダナン市

日時：平成28年12月22日(木)、23日(金)
予定

見学先：ダナン市の都市インフラ施設等

訪問先：フィリピン国セブ市他1市

日時：平成29年1月後半 予定

見学先：セブ市他1市の都市インフラ施設等

6. その他

今年度の「横浜発都市ソリューション」の検討は、「平成28年度新興国都市の開発事業における横浜市内企業の技術・製品を活用した都市ソリューションの検討業務」として、みずほ情報総研株式会社(東京都千代田区)を委託業者として進めます。

本調査にご関心のある企業の皆様は、Y-PORTセンター事務局あるいは委託先企業にお問い合わせ下さい。

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町1-8
関内新井ビル3階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp

みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3
Tel: 03-5281-5287 Fax: 03-5281-5466
担当：熊久保、齊藤

E-mail: kazuhiro.kumakubo@mizuho-ir.co.jp